

レソト王国への記念品

『アルバム作成を終えて』

第5回アフリカ会議（TICAD5）に出席の為、先日レソト王国の首相閣下御一行が日本を訪問されました。一冊の会では6月3日に歓迎会と（東北大震災被災地に物資を提供した人々に依る）翌日6月4日は早朝より福島県津波被災地訪問をご案内させていただきました。その際撮影した写真を使いアルバムを作成してレソト王国へ記念に差し上げる事になりました。1960年より



21世紀はアフリカの世紀と言われています。一冊の会の数々のアフリカに関する行事の報告も櫻華塾で聞いていたので今回の企画に私も是非参加したいと希望していましたが、残念ながら私は雅叙園で行われた歓迎会と翌日の福島県訪問にも仕事の調整が出来ず参加出来ませんでした。無念の思いが胸いっぱい私の心を知った大槻会長のご好意でアルバム作成のヤングの責任者という重大な役目を頂きました。普通なら当日出席出来なかった私をアルバム作成の責任者にするのは、とても心配で任せてもらえないところですが、大槻会長は皆平等に役割を与えるというご配慮で任せて下さりました。その上副責任者として6月3日を村岡清佳さん、6月4日を瀧川紗智子さん中心に手伝って頂けるように計って下さり、アルバム作成が始まりました。

するとまだ入塾したばかりで櫻華塾では勉強が始まっていないのに自主的に自分にも何か出来ないかと大槻会長に名乗り出てくれた福井さんが5人のカメラマンの写真を印刷してたたき台を作っておいて下さいました。そのお陰でスムーズに写真を選ぶことが出来ました。またその上パソコンにも詳しく、写真の編集など手伝って下さり、福井さんの自発性に私も見習わなくてはと思いました。

裏へ続く。

またアルバムには日本語と英語が必要です。私は英語に訳す事が出来ないので村岡さんをはじめ、先輩グループの三坂さんや箱根さんに力を貸していただき英文をつける事が出来ました。他にも急なお願いにも関わらず歓迎会でプレゼントした4つの字をアルバム用にすぐ書いて下さった平間さんなど私たち若手の事を気に掛けてくださり、すぐにフォローして下さる大先輩の姿を見て、感謝の気持ちと共に一冊の会の奥の深さと一流の人材が多方面に大勢いる凄さに驚きました。打てば響く、すぐ行動する姿と後輩を育てようという優しさに心が打たれました。

このように沢山の方の真心で見事なアルバムが完成しました。私が想像していた作業とは異なり見るも鮮やかで豪華な作品になりました。6月3日は雅叙園にふさわしい西陣織りの輝くような表紙に内容は「和」を中心に御振袖姿のヤングが勢揃い。また未来を担うベビーちゃん（赤ちゃん）クラス。最後は世界遺産に認定された富士山でしめる。6月4日は被災地、特に放射能被災対策に取り組んでいる福島県佐藤雄平知事を午前を表敬訪問。午後は相馬市佐藤憲男副市長を表敬訪問と被災地（磯部小学校）（被災者住宅に建てた雪香灯）その上に被災地を相馬市役所の皆様方の真心からのご案内で各地を視察した様子。画面からはにじみ出る素朴の中に真心溢れる写真ばかりでした。立谷秀清市長を始め副市長や市役所の皆様、一生懸命国際交流に心を砕いて下さった校長先生や大勢の生徒さん達、その場に参加出来なかった私でも会長の説明を聞いて相馬市の皆様に感謝で胸が熱くなりました。全てはアルバムを通じて首相閣下をはじめ、随行の皆様の御人柄が行動ににじみ出てレソト王国との深い絆がさらに深く強く結ばれたように感じています。

またアルバムに載せる写真も一生残るものなので映っている人の表情が良いものを選んだり、飾り付けもその場面ごとに合った飾り付けにしたり、写真を並べるにもなぜこの写真がこの場に必要なのかをよく考え、参加者全ての人々が国際友好とは何か・・・（首相、閣僚の皆様が未来っこに向けるまなざしや仕草の優しさは慈愛に満ちた最高の笑顔でした。）等一つ一つの作業すべてに細心の注意をはかりながら作り上げるものだという事を知りました。正直最初はただのお遊戯会のアルバム作り位に考えていた事は大間違いで会長たちの構想は国際友好の積み重ねが信用に繋がり、やがては平和への道しるべとなる事を学ぶ貴重な経験をさせて頂きました。大槻会長の指導と小山理事長の支えと多くの方の力によって真心のこもった素敵なアルバムが出来上がり、レソト王国に7月10日飛び立ちました。再びめぐりくるチャンスはあり得ない。幸福な作業に就けた事に気付いた時は作業終了日でした。このようなアルバムを作る責任者という大役を与えて下さった大槻会長に感謝しています。これからもこの経験を活かして先輩の皆様に期待される21世紀を担う人材を目指して研鑽して参ります。



—— レソト王国に思いを寄せて全てに感謝しつつ ——

グローリア部 片山明日香